



TITLE:

京大広報 No. 532

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 532. 京大広報 1999, 532: 632-645

ISSUE DATE:

1999-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196582>

RIGHT:



京大広報

No. 532

1999. 2



尊攘堂 関連記事本文642ページ

目次

大学の動き

平成11年度入学者選抜学力試験
(第2次学力検査)の期日等.....633

平成11年度入学者選抜学力試験
(第2次学力検査)の志願状況.....634

自衛消防団員に感謝状贈呈635

部局の動き

第4回医学教育ワークショップ
(KUROME-4)の開催635

医療技術短期大学の動き
平成11年度医療技術短期大学部
入学者選抜学力試験について635

日誌636

栄誉

森 重文教授が日本学士院会員
に選ばれる636

訃報637

文化交流

中世以来のアカデミズムの伝統がいきづく町
藤本 聡639

洛書

梁塵秘抄のこと 池上 詢640

公開講座

経済研究所公開シンポジウム
「経済危機と21世紀への展望」641

- 終了報告 -

大学院教育学研究科附属
臨床教育実践研究センター
公開講座「子どもの心に出会う」641

話題

楽友会館ほか4棟が文化財に登録642

クラブ紹介 - ラグビー部 -644

お知らせ

総合博物館建設に伴う通路変更について645

大学の動き

平成11年度入学者選抜学力試験(第2次学力検査)の期日等

平成11年度入学試験(第2次学力検査)を、次の予定で実施する。

前期日程試験

月 日	教科等	学 部	時 間
2月25日 (木)	国 語	総合人間「理系」 ・理・医・薬・農	9時30分～11時
		総合人間「文系」 ・文・教育・法・ 経済「一般」	9時30分～ 11時30分
	論 文	経済「論文Ⅰ」	9時30分～ 12時30分
	数 学	総合人間「文系」 ・文・教育・法・ 経済「一般」	13時～15時
		総合人間「理系」 ・理・医・薬・工 ・農	13時～15時30分
	論 文	経済「論文Ⅱ」	14時～16時30分
2月26日 (金)	外 国 語	総合人間・文・教 育・法・経済「一 般」・理・医・薬 ・工・農	9時30分～ 11時30分
	論 文	経済「論文Ⅲ」	9時30分～12時
	地理歴史	総合人間「文系」 ・文・教育・法・ 経済「一般」	13時～14時30分
	理 科	総合人間「理系」 ・理・医・薬・工 ・農	13時～15時30分

後期日程試験

月 日	教科等	学 部	時 間
3月13日 (土)	数 学	総合人間・教育・ 経済	9時30分～ 11時30分
		理・医・薬・工(地球工学科, 建築学科A・B選抜 物理工 学科 電気電子工学科)・農	9時30分～12時
	論 文	工(工業化学科)	9時30分～ 11時30分
	論 述	工(情報学科)	9時30分～12時
	国 語	総合人間・文・教 育・経済	13時30分 ～15時30分
	理 科	工(建築学科A選抜) 物理のみ	13時30分～15時
		理・医・薬・工(地球工 学科, 物理工学科, 電 気電子工学科)・農	13時30分～16時
3月14日 (日)	実技・論述	工(建築学科B選抜)	13時30分～ 17時30分
	外 国 語	総合人間(独・仏・中国 語)・文・教育・法・経 済・医・農	9時30分～ 11時30分
		総合人間(英語)	9時30分～ 11時50分
	面 接	工(工業化学科)	9時30分～12時 13時～18時
		工(建築学科A・B選抜)	13時～16時
	論 文	文・教育・医・薬	13時～15時
		法	13時～15時30分
3月14日 (日)	口 述	工(情報学科)	13時～17時

平成11年度入学者選抜学力試験(第2次学力検査)の志願状況

志願票の受付は、1月25日(月)から2月3日(水)まで、各学部で行われた。

学部別の入学志願者数は、次表のとおりである。

学 部		募集人員	志願者数	倍 率	(参考) 昨年度 (最終)				
					募集人員	志願者数	倍 率		
總 合 人 間 学 部	前 期	文 系	110	375	3.4	110	401	3.6	
		理 系	55	199	3.6	55	211	3.8	
			55	176	3.2	55	190	3.5	
	後 期	20	396	19.8	20	364	18.2		
文 学 部	前 期	190	597	3.1	190	655	3.4		
	後 期	30	399	13.3	30	374	12.5		
教 育 学 部	前 期	40	133	3.3	40	220	5.5		
	後 期	20	129	6.5	20	161	8.1		
法 学 部	前 期	330	903	2.7	332	970	2.9		
	後 期	30	490	16.3	38	574	15.1		
經 济 学 部	前 期	一 般	210	742	3.5	210	843	4.0	
		論 文	160	508	3.2	160	548	3.4	
			50	234	4.7	50	295	5.9	
	後 期	20	538	26.9	20	397	19.9		
理 学 部	前 期	280	970	3.5	294	963	3.3		
	後 期	31	1,073	34.6	32	1,201	37.5		
医 学 部	前 期	90	404	4.5	90	493	5.5		
	後 期	10	213	21.3	10	263	26.3		
薬 学 部	前 期	70	236	3.4	70	215	3.1		
	後 期	10	158	15.8	10	136	13.6		
工 学 部	前 期		883	2,316	2.6	922	2,478	2.7	
			102	1,103	10.8	108	1,306	12.1	
	地 球 工 学 科	前 期	175	462	2.6	188	525	2.8	
		後 期	20	267	13.4	22	263	12.0	
	建 築 学 科	前 期	80	209	2.6	85	247	2.9	
		後 期	10	94	9.4	10	130	13.0	
		A選抜	5	44	8.8	-	-	-	
		B選抜	5	50	10.0	-	-	-	
	物 理 工 学 科	前 期	220	627	2.9	232	578	2.5	
		後 期	25	330	13.2	28	329	11.8	
	電 気 電 子 工 学 科	前 期	117	291	2.5	126	330	2.6	
		後 期	13	145	11.2	14	176	12.6	
	情 報 学 科	前 期	81	204	2.5	81	212	2.6	
		後 期	9	96	10.7	9	133	14.8	
	工 業 化 学 科	前 期	210	523	2.5	210	586	2.8	
		後 期	25	171	6.8	25	275	11.0	
	農 学 部	前 期	240	800	3.3	248	889	3.6	
		後 期	60	872	14.5	62	902	14.5	
	合 計			2,776	12,847	4.6	2,856	13,805	4.8
			前 期	2,443	7,476	3.1	2,506	8,127	3.2
後 期			333	5,371	16.1	350	5,678	16.2	

注 法学部(後期日程)と経済学部(後期日程)の募集人員には、「外国学校出身者のための選考」の募集人員20人(法学部)と10人(経済学部)が、志願者数には45人(法学部)と29人(経済学部)が、それぞれ含まれています。

自衛消防団員に感謝状贈呈

平成10年12月25日(金)午後4時から事務局長室において、自衛消防団員に対して総長からの感謝状及び記念品が黒川 征事務局長より贈呈された。

この日感謝状を受けた団員は、坂本安行(総務部)、傍島 孝(経理部)、辻本和夫(経理部)、大石 哲(防災研究所)の各氏である。



部局の動き

第4回医学教育ワークショップ(KUROME・4)の開催

平成10年12月25日(金)都ホテルにおいて第4回医学教育ワークショップ(Kyoto University Retreat on Medical Education: KUROME・4)が開催された。

本ワークショップの目的は、医学部の教官が効果的な教授法を修得し、医学教育を改善することであり、平成7年は全教授、同8年は全助教授、同9年は全講師を対象に、今回は各教科責任者を対象に行われた。

タスクフォースは本庶 佑大学院医学研究科長・医学部長、日合 弘教授、今村正之教授、福井次矢教授が担当した。

当日は、本庶研究科長の開会の挨拶に続き、福井

教授がカリキュラム改革の基本方針に関する説明と経過報告を行った。その後、これまでのワークショップで得られた医学教育の原理と最近の動向に関する共通認識を基盤に、本学医学部における教育カリキュラムの改善点について、全体会議と小グループ討論を行った。

特に、平成10年度から作成されたシラバスをもとに行われたカリキュラム統合化に関する討論では、具体的な改善点がいくつか挙げられ、来年度のカリキュラム編成にあたって考慮される予定である。

(大学院医学研究科)

医療技術短期大学部の動き

平成11年度医療技術短期大学部入学者選抜学力試験について

平成11年度入学試験を、次の予定で実施する。

月 日	教科等	時 間
3月2日(火)	国 語	午前9時～10時30分
	数 学	午前11時～午後0時30分
	外国語	午後2時～3時30分
3月3日(水)	理 科	午前9時～11時
	面接	午後0時30分～

作業療法学科の志願者にのみ行う。

なお、1月29日(金)から2月4日(木)まで入学願書の受付が行われた。

学科別の入学志願者数は、次表のとおりである。

学 科	募集人員	志願者数	倍率	(参考) 昨年度		
				募集人員	志願者数	倍率
看護学科	80	231	2.9	80	225	2.8
衛生技術学科	40	389	9.7	40	387	9.7
理学療法学科	20	259	13.0	20	258	12.9
作業療法学科	20	202	10.1	20	240	12.0
計	160	1,081	6.8	160	1,110	6.9

日誌

(1998年12月1日～12月31日)

12月1日 総長，ベルリン自由大学創立50周年記念式典出席及びフンボルト大学との学術交流協定締結ならびに学術交流に関する意見交換のためドイツ連邦共和国を訪問（7日まで）

3日 附属図書館商議会

7日 ラオス人民民主共和国 ラオス国立大学 VONGDARA, Bosengkham 学長他1名来学，三好郁朗副学長及び関係教官と懇談

8日 評議会

9日 環境保全委員会

11日 中華人民共和国 中国科学院 馬 彤軍 副秘書長他9名来学，総長及び関係教官

と懇談

11日 人権週間に因む研修会

15日 能楽鑑賞会

16日 国際交流委員会
" 国際交流会館委員会

17日 放射性同位元素等管理委員会
" 外国人研究者との懇談会

22日 評議会
" 後援会助成事業検討委員会

栄誉

森 重文教授が日本学士院会員に選ばれる

このたび，森 重文教授が日本学士院会員に選ばれた。

以下に同氏の略歴，業績等を紹介する。



森 重文教授は愛知県の出身で，昭和48年京都大学理学部を卒業，同50年本学大学院理学研究科修士課程修了，同50年本学理学部助手，同55年名古屋大学理学部講師，同57年同大学理学部助教授，同63

年同大学理学部教授を経て平成2年に本学数理解析研究所教授に就任し，現在に至っている。

同教授の研究業績は，代数幾何学の中の双有理分類論という分野における3次元の幾何学分類問題である。

代数幾何学というのは，「代数多様体」と呼ばれる図形を扱う学問である。それらの図形のうちで，2次元以上の代数多様体は一つの図形が少しずつ違った形をして現れることがある。乱暴な例えだが，図形をどこかにぶつけて，部分的な凹みや尖りができたりといった感じと言えば良いであろう。この些細な違いを無視して代数多様体を分類しよう，というのが双有理分類論である。これは，19世紀末

のイタリア学派による代数曲面の双有理分類論に始まった。その後，同理論は小平邦彦博士により解析曲面の双有理分類論という形で精緻に完成された。

その中の重要なステップとして，殆どの曲面は，凹や凸をなくすように図形を簡略化する操作を行うと極小モデルと呼ばれる曲面にすることができる，という事実があった。この操作を極小モデルプログラム（MMP）という。これにより，曲面の双有理分類は極小モデルの分類に帰着された。

しかし，3次元以上では極小モデルの素朴な一般化は不可能であった。この極小モデルの高次元化の困難は，MMPの大局的視点による定式化の欠如と極小モデルに現れる特異点に起因していた。

ちなみに，1972年に飯高 茂博士が提唱した，極小モデルを用いない分類は，1970年代に一応の成功を収めたが，双有理分類を完成するには限界があった。

1980年に森教授は広中・クライマン理論からアイデアを得て，端射線理論を導入し大局的視点を与えた。これとマイルズ・リード博士による端末特異点

の導入とがきっかけになり、3次元MMPは大きく動き出した。その後、多くの人々の貢献によりMMPは整備され、粗い意味の3次元双有理分類論は、フリップと呼ばれる操作の存在に帰着された。そして1988年、森教授により3次元フリップの存在は証明され、3次元双有理分類論は完成し、3次元の幾何学分類は解決した。

その後、3次元MMPについては、境界付きの理論を含め一般化され、発展している。また4次元以上についても、幾つかの試みがなされているものの、現在のところ未解決であり、今後の研究が期待される。

(数理解析研究所)

訃報

土屋 義人 名誉教授



本学名誉教授土屋義人先生は、平成10年10月14日逝去された。享年68。

先生は、昭和31年京都大学大学院工学研究科修士課程を修了後名古屋工業大学助手、同33年講師、同36年京都大学防災研究所助教授、同43年教授、平成元年より2年間防災研究所長を併任し、同6年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。本学退官後は、名城大学教授を務められた。

先生は、海岸水理学、海岸工学、自然災害科学の広い分野にわたり活発な研究活動を展開され、非線形波動論、異常波浪・高潮の予知、漂砂力学、海岸変形予測及び海岸侵食制御論の分野において多くの優れた研究業績を残された。

また、文部省測地学審議会委員をはじめ、滋賀県

環境影響評価審議会専門委員、科学技術庁防災科学技術センター運営委員及び国、地方自治体における各種委員会委員長を歴任され、広い視野と卓越した見識を以て社会に貢献された。

一方、学会等の活動としては、土木学会海岸工学委員会委員長、評議員、自然災害学会理事などを歴任され、学会の発展に貢献されるとともに自然災害科学総合研究班の本部幹事として自然災害科学の進展に尽力された。さらに、平成5年には、インドネシアにおける技術指導及び研究者の育成の功勞により、インドネシア政府より研究開発功績賞を受けられた。

これらの一連の教育研究活動、学会活動により、平成10年10月勲二等瑞宝章を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(防災研究所)

森 二郎 理学部地球物理学教室文部技官



理学部地球物理学教室文部技官森 二郎氏は、平成10年11月29日逝去された。享年58。

同氏は、昭和37年京都大学理学部に就職され、実験助手として業務に尽力、永年にわたり理学部および大学院理学研究科の研究発展に多大の貢献をされた。

また、平成4年には、京都大学永年勤続者表彰(30年勤続)を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(理学部)

山口 昌哉 名誉教授



本学名誉教授山口昌哉先生は、平成10年12月24日逝去された。享年73。

先生は、昭和22年京都帝国大学理学部を卒業、同大学院（旧制）数学専攻に進み、同23年京都大学理学部副手となり、助手を経て、同25年京都大学工学部講師に就任、同26年同助教授、同36年同教授として、工業数学講座を担当された。続いて、昭和43年理学部に配置換えとなり、計画数学講座を担当された。昭和56年から58年には、理学部長として、大学の管理運営に貢献された。昭和63年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。

本学退官後は、平成10年3月まで、龍谷大学理工

学部教授を務められた。

先生は、解析学、応用数学の幅広い分野で輝かしい業績をあげられた。常微分方程式論、偏微分方程式論、数値解析学、非線形問題、力学系、カオス・フラクタル理論の各分野にわたって、その先駆的研究により絶えず学界の指導的立場にあった。先生は、他分野との交流を進められるとともに、後進の教育・指導に努められ、新しい分野の学問発展に多大な貢献をされた。

先生は、日本学術会議会員を務められ、また日本数学会、日本応用数理学会、社会・経済システム学会などにおいて理事、会長等の要職を歴任された。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（大学院理学研究科）

本田 實信 名誉教授



本学名誉教授本田實信先生は、平成11年1月6日逝去された。享年75。

先生は、昭和24年東京帝国大学文学部東洋史学科を卒業、同29年東京大学大学院を修了後、英国ケンブリッジ大学日本語講師、北海道大学文学部助教授、教授を経て、同50年京都大学文学部教授に就任し、西南アジア史学講座を担当された。昭和58年から同60年1月まで評議員、同60年1月から翌年3月まで文学部長として、大学の管理運営に貢献された。昭和61年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。本学退官後は、名古屋商科大学教授を務め

られた。

先生は、イスラム時代の西アジア・中央アジア史およびモンゴル時代史の分野で優れた研究業績を残された。なかでも、日本の学界において、ペルシア語文献の利用価値とイスラム写本研究の重要性についての認識を確立された功績は、きわめて大きい。主な著書に『モンゴル時代史研究』『イスラム世界の発展』等がある。

また、日本オリエント学会、日本イスラム協会、内陸アジア史学会、史学研究会、東洋史研究会など、多くの学会で役員を務められた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（大学院文学研究科）

文化交流

中世以来のアカデミズムの伝統がいきづく町

藤本 聡

1997年10月より11カ月間、イギリスのオックスフォード大学に、文部省の在外研究員として滞在していました。イギリスに渡るのは今回が初めてで、出発前は、1年を通して、雨や曇りがちの天候と、食事のまずい国、という悪いイメージを抱いていましたが、オックスフォードで暮らしはじめて数カ月で、この印象は一転しました。

確かに、食事のまずさも悪天候も予想通りでしたが、それ以上に、オックスフォード近郊の自然の豊かさ、人々の暖かい人間味にふれて、すっかり、気に入ってしまいました。

オックスフォード大学はおよそ40くらいのカレッジと、大学所属の幾つかの研究機関の集合体から成っており、日本やアメリカの大学とは、かなり異なるシステムを有しています。カレッジはいずれも、もともと教会が設立し運営していたもので、それぞれ独立した私立学校ですが、Departmentなどの研究機関は国立で運営されています。

私が滞在していた Department of Physics の場合、大学院学生や教官は皆、それぞれ違ったカレッジにも所属していて、カレッジの学部学生向けの講義を担当したりしています。カレッジは、最も古いものでは12世紀ごろに創設されており、いずれも由緒ある中世の雰囲気を漂わせた立派な建物と芝生の敷き詰められた庭を有しています。



Christ Church

昼間のある時間帯には、キャンパスを一般の人たちに公開しており、1年を通して、観光で訪れる人々が絶えることはありません。なかでも、最も規模の大きい Christ Church というカレッジは、「不思議

の国のアリス」の作者であるルイス・キャロルや、思想家のジョン・ロックが出たところとして有名で、観光の目玉となっているようです。また、内装もかなり凝っており、オックスフォード大学での私のホストであった TSVELIK 教授が Brasenose College に持っている彼のオフィスは、ヴィクトリア朝様式の格調高い家具に囲まれた立派で、かつ広々としたもので、さらに、教授や教官にだけ使うことが許されている特別な談話室は、さながらちょっとしたホテルのラウンジのような豪華さです。研究で疲れた後、このようなところで優雅な時間を過ごせるなんて、とてもうらやましく感じられます。

オックスフォードには、このようなカレッジがあちこちに点在しているので、町全体が中世の格調高い雰囲気を漂わせています。また、オックスフォードは緑の豊かさでも特筆すべきところです。



University Park

Department of Physics の建物のすぐ近くには University Park という公園があり、広さではロンドンのハイドパークには及びませんが、自然の豊富さでは負けていません。また、町の中心から西の方へ10分ほど歩けば、広大な牧場が、突如、眼前に広がり、こんな町のすぐ近くにこんなものがあることに驚かされます。このような中世的雰囲気と豊かな緑の中に身を置くことには、時間の流れを忘れさせる作用があるようで、オックスフォードにいる研究者の人々は、日本ほど、あまり汲々としていないようです。

人目を引く成果を早く出すために流行のテーマを追いつめるよりも、じっくり腰をすえてアカデミッ

くな問題に取り組もうとする研究姿勢が、オックスフォードにはあると思います。

もう一つイギリスでの生活で忘れてはならないものはパブ(居酒屋)です。パブここでは社交の場として重要で、町中いたるところにあります。一日の仕事が終わった後、同じ研究室のポスドクたちと一緒に飲みに行ったり、また、そこでたまたま知り合った人たちとビリヤードに興じたりと交友関係を広げる上でとても有意義でリラックスした時間を過ごせます。

オックスフォードでは古い伝統を大切にすることあまり、ある面、現在の生活の便利さがかなり犠牲にされているように見えるところもありますが、その一方で便利さや効率では計れない生活のゆとりのようなものを肌で感じとることができます。

長い歴史の流れの中に身を置く、精神的ゆとりが、古くて良いものを大事に継承しながら、次の時代の新しい学問の潮流を創り出す上で大切なのかもしれません。

(ふじもと さとし 大学院理学研究科助手)

洛書

梁塵秘抄のこと

池上 詢

梁塵秘抄は十二世紀のいわば歌謡集である。仏教や神道に関する法文歌とともに、当時の流行歌である今様も数多く採録されている。民間で流布した歌が多く記録されているだけに当時の世相を背景にした心情がじかに伝わってくる。

たとえば

君が愛せし綾蘭笠 落ちにけり落ちにけり
賀茂川に川中に それを求むと尋ねとせしほど
に 明けにけり明けにけり さらさらさやけの
秋の夜は。

賀茂川に落ちた帽子を恋人同士で明け方までどこまでも追うというもので、風情が感じられる。もっと濃厚に恋心を吐露したものとか、動物や子を気遣うものもあり、題材の幅は広い。

保元、平治の乱が起こった不安の時代にあって、人々には神仏への信仰が大きな支えであったことが秘抄に反映されている。

たとえば

仏は常にいませども 現ならぬぞあはれなる
人の音せぬ暁に ほのかに夢に見えたまふ。

これは秘抄を代表する名歌とされ、仏の實在は残念ながら現認できないが、朝方夢枕に現れて下さるのがその証拠だと説いたもので、信仰の境地が端的に、しかも素直に詠まれている。

今様を含めて当時の歌を秘抄として撰んだのは後白河法皇であった。法皇は源平時代の争乱と陰謀の渦中の人で、平家追討の院宣を下したことで知られ

ている。勢力のバランスを巧みに操って政略に力を注ぐ腹黒い人物と思っていたが、彼の本当のライフワークは十数歳から始めた今様の修練とその伝承であった。

秘抄の回想文によれば、上手下手を問わず歌う者を誰彼なく呼び入れて歌を習い、乙前という年老いた元遊女を歌の師と仰いだ。乙前が最期を迎えてからは読経を一年つづけ、一周忌には夜を徹して今様を演じて供養した。法皇は政治家というよりは心やさしい芸術家で、こよなく人を大切にしたい人物に映る。また、人に媚びを売る遊女でも一念発起すれば往生できるというのだから、法文し、世俗今様でも経文に違わない歌をうたう自分は必ず彼岸成就できるとの確信が述べてある。さらに、和歌や書は後に残るが歌謡は消えてしまうので、後世のため今様の口伝を作ったとある。

この回想文を読んで、今様に打ちこむことで仏道への帰依を目指すまじめさ、二十年近くもかけて秘抄を撰びあげた熱意、そして人に対する心づかいに胸を打たれた。これで平家物語にあるように大原御幸で法皇が建礼門院を訪れたのも納得できる。清盛の妓王、妓女に対する過酷な仕打ちと比べると、二人の権力者の相克の真の原因は、人に対する思いやりなど性格の違いにあったかもしれない。

(いけがみ まこと 大学院エネルギー科学研究科教授)

公開講座

経済研究所公開シンポジウム
「経済危機と21世紀への展望」

日 時 平成11年3月10日(水)
午後2時から午後5時まで
会 場 京都市国際交流会館(京都市左京区栗田口鳥居町2・1)
☎075・752・3010

プログラム

1. 基調講演 経済研究所長 佐和隆光
2. パネルディスカッション

司 会 助教授	浅田 彰(社会経済思想史)
パネリスト 教授	有賀 健(マクロ経済学 労働経済学)
助教授	岩本康志(公共経済学)
教授	坂井昭夫(国際経済論)
教授	佐和隆光(計量経済学)
教授	橘木俊詔(経済政策)

対 象 市民一般
定 員 200名(先着順)
受 講 料 無 料
問い合わせ先 京都大学経済研究所 庶務掛 ☎075・753・7102

(共催 財団法人 総合経済研究所)

(車でのご来場はご遠慮願います)

終了報告

大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター
公開講座 「子どもの心に出会う」

本公開講座は、子どもの心の問題に関心を持つ一般市民を対象に、幼児・児童・思春期の子どもの心を理解し、考える一助として企画された。

日 時 平成10年12月19日(土) 午後2時～5時
講 演 「子どもの心に出会う」
大正大学 村瀬嘉代子教授

質疑応答

父母や教育関係者、学生など184名が受講し、活発な質疑応答が展開された。

(大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター)

話題

楽友会館ほか4棟が文化財に登録

このたび、楽友会館、農学部表門及び門衛所が平成10年7月23日付けで、また文学部陳列館、尊攘堂、農学部演習林事務室が同年9月2日付けで文化財保護法第56条の2第1項の規定により文化財に登録されました。

なお、本学においてはすでに理学部附属地球熱学研究施設が文化財に登録されています。

(京大広報1998.1 No. 520に掲載)

1. 楽友会館(大正14年建築)

京都大学創立25周年記念の同窓会館。分離派建築界の森田慶一氏が設計にあたり、スパニッシュ・ミッションを基調としながら、Y字型の柱に支えられた円みをもつポーチ屋根が破調を与えている。森谷延雄氏による家具とともに内部空間も大正建築の特徴をよく伝えている。

2. 農学部表門及び門衛所(大正13年建築)

分離派建築界森田慶一氏の秀作で、通用口の尖頭アーチなど楽友会館と共通するディテールが認められる。ドイツ表現派のモチーフを採りながら、日本瓦を載せた薄い屋根が頂部を明確に水平に区切って節度を与え、全体意匠を品格あるものに仕立てている。

3. 文学部陳列館(大正3年建築)

京都帝国大学拡張期の代表的建築で、陳列館としての記念碑的性格を有する。ブローイングペディメントや楕円形の窓などネオバロックに傾斜しながらも、細部装飾にはセセッション的意匠が認められ大正期建築の特徴をも示している。京都帝国大学営繕課の山本治兵衛氏と永瀬狂三氏の設計。

4. 尊攘堂(明治36年建築)

この建物は品川弥次郎氏が創設した記念堂に由来する。品川氏の死後、関係資料と建設資金が京大に寄附され、本部構内に新築された。煉瓦造スタッコ塗りで鉄造の玄関ポーチを有し、開口部など平明な意匠で仕上げられており、小堂ながら構内では異色の建築になっている。

5. 農学部演習林事務室(昭和6年建築)

スパニッシュ瓦葺、ベランダをめぐらしたバンガロー風の木造建築で、ベランダ天井の意匠などモダニズムの清新さ溢れる作品に仕上がっている。北部構内の独特の農村的景観形成にも大きく寄与している。京都帝国大学営繕課の大倉三郎氏の設計。



農学部演習林事務室



文学部陳列館



尊攘堂



農学部表門及び門衛所



楽友会館

クラブ紹介

ラグビー部

日本のラグビーは、今から百年前の明治32年(1899)に、語学講師であった英国人のエドワード・クラークが慶応大学生たちを直接指導したことによって始められたことは広く知られているが、その後、関東の諸大学に広まる前に京都の第三高等学校に日本第二のラグビーチームが誕生し、続いて同志社大学、京都府立第一中学校(現 洛北高校)へとラグビーが京都で広まったことは、あまり知られていない。

本学ラグビー部は、そのような流れの中で、東大ラグビー部を創設した三高出身者の香山 蕃氏から京大生であった谷村敬介氏に、「東大にラグビーチームを造ったから京大にも早く造って、東大と京大の定期戦を行い、日本のラグビーの健全な発展と普及に貢献しようではないか」との強い要請に応じて創部されたもので、大正11年(1922)京都帝国大学学友会運動部の一つとして承認されたものである。

創部の発端となり、その年に始まった東京大学との定期戦は、本学ラグビー部最古の定期戦として長い伝統を誇っている。この定期戦は、平成3年(1991)に東大ラグビー部創部70周年を記念して、第1回「谷村敬介盾」争奪戦として秩父宮ラグビー場で開催され、現在に至っている。

ラグビー部が誇りとしているのは、歴史の長さだけではない。昭和3年(1928)には、慶応と早稲田を連破し初の全国制覇を達成した。それから昭和5年

(1930)にかけて全国三連覇を成し遂げ、その間、全日本のカナダ遠征には、三島、岩前、上田の三選手が参加したのを始め、多数の選手を代表に送り込むなど、輝かしい歴史を有している。また、昭和39年(1964)から始まった大学日本一を争う大学選手権にも通算5回出場している。

しかし、その後、スポーツ推薦入試によって素質溢れる選手を入学させている有力私立大学に対し、本学ラグビー部は、大学に入学してからラグビーを始める部員が半数を占めるという非常に厳しい状況に置かれ、関西学生リーグのCリーグ落ちも経験した。ようやく平成8年(1996)にBリーグへ昇格し、その後現在までは7位と着実にAリーグ復帰への道を歩み続けている。

現在、宇治市黄檗の万福寺の近くにある本学の宇治グラウンド及び合宿所を拠点として、60名を超える部員たちがトレーニングと学業の両立を計るとともに、創部以来のフェアプレー精神を堅持し、再度、Aリーグの晴れ舞台で活躍できるよう、自助努力を怠らず精進を重ねている。なお、現在のラグビー部長は往年の京大名ラガーであった三好郁朗副学長である。



慶応大学との定期戦(平成10年6月:慶応大学日吉グラウンド)

お知らせ

総合博物館建設に伴う通路変更について

本部構内西門が総合博物館の建設工事に伴い、3月1日から平成12年3月末日まで閉鎖され通行できなくなるため、その間、仮設通路を通行していただくこととなります。

なお、仮設通路については昨年の11月号の『京大広報』(No. 529)にて、既にお知らせしているところであります。

〔仮設通路使用期間〕

平成11年3月1日～平成12年3月末日

なお、通行形態及び通行可能時間帯は現在の西門と変更ありません。

